

# 観光振興・賑わい創出と関わる地域



# (仮称) 大阪国際ゲストハウス地域 Naming, Zoning, Planning & Promotion



- Naming 名付け
  - 国内外からの来訪者向け宿泊滞在拠点としての位置付け
  - (仮称)大阪国際ゲストハウス地域か、「新今宮」でブランド化するか
- Zoning & Planning 線引と計画
  - **面・線・点 (イメージ図)**
  - 点から線へ, 線から面へ
  - 線沿いおよび面内は特定産業の立地の促進を政策的誘導: **立地誘導**
  - 点を強化し**変容を促す助成の創設**
- Promotion 宣伝
  - 大阪市の観光施策や公的対外的発信のなかでnamingを常用する
- (仮称)大阪国際ゲストハウス地域内と線沿いと個々の点で, **標識や看板の類の多言語化を促す助成**
  - 縦割り行政の弊害を「特区」で克服
  - 府市統合の象徴となる看板設置!!

⇒ 以上を大阪市政へ働きかける

# 集客の核となる簡易宿所の現状

- 大阪市全域105軒のうち65軒があいりん地区立地（2011年4月現在）
  - 福祉マンションの激増（2000年～）
  - 福祉併用型簡宿の認可（2009年～）
- 地域の収容定員：5.3千室/日，196万泊
  - 日雇い労働者：年間70万から100万泊
  - 外国人10万泊・国内観光客30万泊の**倍増を目標に設定する**
- 生き残った**簡易宿所の集積地域**：太子1丁目，萩之茶屋1・2丁目
  - 萩之茶屋1・2丁目立地の簡宿は銀座通りか幹線道路沿いが多い
  - 福祉マンションへ転業と廃業：簡宿免許の喪失
- **簡宿の三層化+α**
  - ★：外国人の受入れ成功を起爆剤として再生した国際ゲストハウス（約10軒）
  - ●：労働者と国内来訪者で現状維持できている簡宿（約20軒）
  - ▲：立ち竦む簡宿（約30軒）
  - ×：立ち枯れた簡宿とその跡地の駐車場



# 簡易宿所の再生から地域の再生へ



- ★国際ゲストハウス：10軒
  - サービスの洗練・充実のため
  - 上限100万半額助成で1,000万円
- ●現状維持の簡宿：20軒
  - 「国際ゲストハウス」への経営転換を目指す：何らかの**目標設定**が必要
  - 目標に向けたハード・ソフトの改善で上限100万円半額助成で2,000万円
- ▲立ち竦む簡宿：30軒
  - 簡宿免許交付を特区限定で規制緩和
  - かつての状態に近い新築を認める
  - 「所有」・「経営」・「運営」の分離が可能になり再投資促進
- ×立ち枯れ・跡地：20ヶ所
  - 立ち枯れした簡宿やその跡地利用で、かつての基準で簡宿免許を再交付
  - 福祉マンションから簡宿へ再転業する場合に限定して、かつての基準で簡宿免許を再交付
- 簡宿関係の府市の条例を特区限定で緩和する：**時計を3,40年戻す**